

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	器楽(ピアノ主専攻者)	3単位	芸術科(音楽) 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○ピアノ実技に関する知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高めることを目指す。		
教科書副教材等	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1	4	○調号4～6つのスケール ①長音階	○調号4～6のスケール、アルペッ を正確にある程度の速度で弾く事が		実技テスト(6月) ・スケール・アルペッジョ
	5	②和声短音階、旋律短音階	できる。		
	7	○調号4～6のアルペッジョ	○各々の選択した楽曲を音楽性豊		
	(13)	○任意のエチュード及び楽曲	かに演奏することができる。		
2	8	○任意のエチュード及び楽曲	○各々の選択した楽曲を音楽性豊		実技テスト(11月) ・自由曲
	5		かに演奏することができる。		
	12. (16)		○各自の習熟度に応じながら、バ ロック、古典、ロマン、近現代の4期 の時代様式に適した演奏法を身に		
3	1	○全調のスケール ①長音階	○全調のスケール・アルペッジョを 正確に弾く事ができる。		実技テスト(2月) ・スケール・アルペッジョ 調号0～7全調 ・自由曲
	5	②和声的短音階			
	3	③旋律的短音階 ○全調のアルペッジョ	○各々の選択した楽曲をより幅広		
	(6)	○任意のエチュード及び楽曲	く、音楽性豊かな表現法を追求し 演奏することができる。		

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	器楽(管弦打楽器主専攻者)	2単位	芸術科(音楽) 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○ピアノ実技に関する知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高めることを目指す。		
教科書副教材等	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月(週)	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1	4	○調号3～4のスケール ①長音階 ②和声的短音階 ③旋律的短音階	○調号3、4のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(6月) ・スケール・アルペッジョ 調号3～4 ・自由曲
	5	○調号3～4のアルペッジョ			
2	7	長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		実技テスト(11月) ・スケール・アルペッジョ 調号4～5 ・自由曲
	(13)	○任意のエチュード及び楽曲			
	8	○調号4～5のスケール ①長音階 ②和声的短音階 ③旋律的短音階			
3	5	○調号4～5のアルペッジョ	○調号5つ以内のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(2月) ・スケール・アルペッジョ 調号5～6 ・自由曲
	12	○任意のエチュード及び楽曲			
3	(7)	○調号5～6のスケール ①長音階 ②和声的短音階 ③旋律的短音階	○調号6つ以内のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(2月) ・スケール・アルペッジョ 調号5～6 ・自由曲
	1	○調号5～6のアルペッジョ 長音階と短音階			
	3	○任意のエチュード及び楽曲			
	(7)	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。			

週数35 × 2単位 = 合計70時間

〈沖縄県立開邦高等学校〉

(音楽) 授 業 シ ラ バ ス

教 科	科 目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	器楽(管弦打楽器主専攻者)	3単位	芸術科(音楽) 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○それぞれ専攻する楽器実技に関する知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高めることを目指す。		
教科書 副教材等	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月 (週)	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1	4	○任意のエチュード及び楽曲	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。 ○各時代の作品における音楽様式とその表現方法への理解と実践を行う。		実技テスト(6月) ・任意の楽曲 ・スケール
	5 7 (13)				
2	8	○任意のエチュード及び楽曲	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。 ○各時代の作品における音楽様式とその表現方法への理解と実践を行う。		実技テスト(11月) ・任意の楽曲 ・スケール
	5 12 (15)				
3	1	○任意のエチュード及び楽曲	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。 ○各時代の作品における音楽様式とその表現方法への理解と実践を行う。		実技テスト(2月) ・任意の楽曲 ・スケール
	5 3 (7)				

週数35 × 3単位 = 合計105時間

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	器楽(声楽主専攻者)	3単位	芸術科(音楽) 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○ピアノ実技に関する知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現能力を高めることを目指す。		
教科書副教材等	生徒の実態に応じたエチュード及び楽曲	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1	4	○調号3～4のスケール ①長音階 ②和声的短音階	○調号3～4のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(6月) ・スケール・アルペッジョ
	5	③旋律的短音階			
1	7	○調号3～4のアルペッジョ 長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		調号3～4 ・自由曲
	(13)	○任意のエチュード及び楽曲			
2	9	○調号4～5のスケール ①長音階 ②和声的短音階	○調号4～5のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(11月) ・スケール・アルペッジョ
	5	③旋律的短音階			
2	12	○調号4～5のアルペッジョ 長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		調号4～5 ・自由曲
	(16)	○任意のエチュード及び楽曲			
3	1	○調号5～6のスケール ①長音階 ②和声的短音階	○調号5～6のスケール・アルペッジョを正確に弾く事ができる。		実技テスト(2月) ・スケール・アルペッジョ
	5	③旋律的短音階			
3	3	○調号5～6のアルペッジョ 長音階と短音階	○各々の選択した楽曲を音楽性豊かに演奏することができる。		調号5～6 ・自由曲
	(6)	○任意のエチュード及び楽曲			